2022年9月10日　第201号　　1999年11月15日　第三種郵便物認可(2)

時間預託活動（7月度）

	提供活動	コーディネート	事務所提供	活動管理	当月計	年度計
時間数	45	1	5	14	65	192
人数	9	0	1	5		

奉仕活動　（7月度）

	福祉活動	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	0	0	9	0	0	18
人数	0	0	9	0	0	

読めますか？

捗る　　燥ぐ　散撒く　鬻ぐ

跪く　只管　　偏に　鄙びる

素見す　　諂う　　穿る　絆す

実しやか　　跨ぐ　　塗れる

はかどる　はしゃぐ　ばらまく　ひさぐ

ひざまずく　ひたすら　ひとえに　ひなびる

ひやかす　へつらう　ほじくる　ほだす

まことしやか　　またぐ　　まみれる

新入会員のご紹介（8月度）

大野カヅイ　様　岐阜市長良

どうぞよろしく

時事川柳

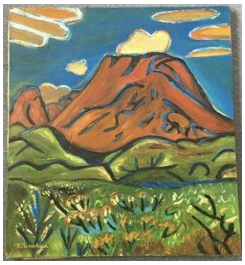
（岐阜新聞入選作）

＊隣国に戦火逃れていき千里
＊国連の決議無視して自己主張
はっとり勝弘
（ナルク会員・岐阜市議会議員）

日本の名画 ⑦

ウメハラ　リュウサブロウ
梅原龍三郎

「浅間山」１９５３年（昭和28年）



飽和２３年、六十歳を迎えたころから、夏は軽井沢で避暑しその頃から年々この高原に出かけるようになると、当然のように浅間山を主題として描くようになった。

この作品は、浅間山連作の中の一つの異色な作品である。ことに絵の上半に見られる空から雲の大胆極まりない描き方は、驚嘆に値するもので、作者のきわまりない意欲を示している。なにものにも捉われず、屈託しない造形意欲に任せて、途方もない飛躍をあえてする芸術家の気概が、満面に満ちている。

ルノアールとの出会い

二十歳の春、友人と共に渡欧しパリ到着した。そしてリュクサンブール美術館を訪れ、たまたまルノワールの作品と出会った時から、ルノワールを師と仰ぎ、研鑽を重ね、梅原芸術の基盤が決定したのであった。

昭和27年（1952）文化勲章受章
昭和61年（1986）没　享年九十八才

松下幸之助（一日一話より）　自分自身への説得

説得というものは、他人に対するものばかりとは限らない。自分自身に対して、説得することが必要な場合もある。自分の心を励まし、勇気をふるい起こさねばならない場合もあろうし、また自分の心を押さえて、辛抱しなければならない場合もあろう。そうした際には、自分自身への説得が必要になってくるわけである。

私がこれまで自分自身への説得をいろいろしてきた中で、いまでも大切ではないかと思うことの一つは、自分が運が強いと自分に言い聞かせることである。ほんとうは強いか弱いかわからない。しかし、自分自身を説得して、強いと信じさせるのである。そういうことが、私は非常に大事ではないかと思う。